

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 黒澤 敏行
 事務局長 渡部 浩士
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 有伸商会
 TEL (011)814-6211

第31回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第7回 全道コンクール

第31回読書感想画中央コンクール・第7回読書感想画全道コンクールの審査が、1月11日(土)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も600点を超える作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

最優秀賞

小学校低学年の部
 「ふしぎできれいな
 エレベーターとボタン」



栗山町立継立小学校3年
 澤田明梨
 『エレベーターのふしぎなボタン』
 ポプラ社
 (加藤直子/作 杉田比呂美/絵)

小学校高学年の部
 「四季の部屋」



登別市立幌別東小学校4年
 成澤結紀乃
 『モノ・ジョーンズとからくり本屋』
 フレーベル館
 (シルヴィア・ピショップ/作
 三辺律子/訳 平澤朋子/絵)

中学校の部
 「届かぬ時の流れ」



札幌市立あいの里東中学校2年
 宮原モモ
 『モモ』岩波書店
 (ミヒヤエル・エンデ/作
 大島かおり/訳)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

| | | | |
|---------------------|--------------|----|-------|
| ※ふしぎできれいなエレベーターとボタン | 栗山町立継立小学校 | 3年 | 澤田明梨 |
| ※四季の部屋 | 登別市立幌別東小学校 | 4年 | 成澤結紀乃 |
| ※届かぬ時の流れ | 札幌市立あいの里東中学校 | 2年 | 宮原モモ |

《優秀賞》

| | | | |
|----------------------|------------|----|-------|
| ※春になったら、みんなで楽しくおどろうね | 釧路市立鳥取小学校 | 3年 | 岩田知怜 |
| ※にじの家 | 函館市立本通小学校 | 2年 | 安保咲希 |
| ※あの日の記憶 | 室蘭市立高砂小学校 | 6年 | 石川陽菜 |
| ※うぐいすをやさしく見守る梅の木 | 札幌市立屯田南小学校 | 5年 | 船尾ひなた |
| ※今に生きる | 札幌市立陵北中学校 | 1年 | 横溝柚穂 |
| 躍動 | 札幌市立藻岩中学校 | 2年 | 辻ひより |

《優良賞》

| | | | |
|--------------------|--------------|----|-------|
| ※ネコのタクシー | 函館市立本通小学校 | 3年 | 棟方藍瑠 |
| いってみたいな | 函館市立桔梗小学校 | 1年 | 木村莉理 |
| わたしのエレベーターボタン | 札幌市立白楊小学校 | 2年 | 太良木心夏 |
| 「バッタロボットのぼうけん」をよんで | 函館市立北星小学校 | 1年 | 小野太一 |
| ※二ヶの最後の声 | 函館市立石崎小学校 | 5年 | 山田美桜 |
| プラスチックのない未来のきれいな海 | 室蘭市立蘭北小学校 | 4年 | 工藤維華 |
| からくり本屋へようこそ | 函館市立桔梗小学校 | 6年 | 佐藤莉子 |
| 心の歌 | 登別市立幌別東小学校 | 4年 | 成澤結紀乃 |
| おんなのことレモン | 市立札幌開成中等教育学校 | 3年 | 畑野和奏 |
| 日記の記録 | 札幌市立あいの里東中学校 | 2年 | 澁谷來未 |
| 人と人の支え | 札幌市立清田中学校 | 1年 | 林果穂 |

《学校賞》

- 小学校の部 函館市立本通小学校 ○ 中学校の部 札幌市立あいの里東中学校
- 高等学校の部 該当校なし

※=全国行き作品

第31回読書感想画中央コンクール・第7回全道コンクール【総評】

子どもたちの溢れる思い、みずみずしい感性に触れて

北海道造形教育連盟 事務局長 東 尚 典

(札幌市立有明小学校 校長)

今年で7回目を迎えた読書感想画全道コンクールには、道内各地の小学校から高校まで、全637点の応募がありました。作品数こそ前年を100点余り下回ったものの、出品校数は増えており、例年に勝るとも劣らない力作が集まりました。

子どもたちの取組を支え、応募にご協力いただいた保護者・学校関係者の皆様には心より感謝申し上げますとともに、主催者である学校図書館協議会と毎日新聞社の本事業への熱意ある取組に心より敬意を表します。

審査会では、子どもたちの発達段階にそって、3つの部門に分けて選考にあたりました。

小学校低学年（1～3年）では、教室で先生や友達と一緒にお話を読み、お気に入りの場面やお話から浮かんだ様子を思い思いに表していました。友達や先生とお話しながら、楽しそうに夢中になってクレヨンや絵筆を進めている姿が想像できました。

小学校高学年（4～6年）になると自由図書からの出品が増え、作品もバリエーションに富んできて、描いた子それぞれの個性が発揮されていました。裏面にある感想文と照らし合わせて見ていると、描きたいことをしっかりとイメージし「かたち」と「いろ」を工夫して表そうと頑張る子どもたちの様子が浮かんできました。

中学校・高等学校部門では出品数自体は他部門ほど多くありませんが、どの作品も描くことが“好き”な生徒たちが、真剣に作品に向き合っている姿が伝わってきました。読んだ物語の主題や主人公の心情に迫り、構成や技法などを工夫し表現した作品は、どれも質の高いものばかりで感心しました。

審査を通して作品に表された子どもたちのメッセージを読み取りながら、我々も互いに感想を述べ合い、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

これからも全道の子どもたちが読書を通じて多くの素敵な出会いに恵まれ、加えて造形的な表現を通して、感じたことやイメージしたことを表現することの楽しさを実感しながら、自らの創造性や感性をより豊かにしていってくださることを大いに期待します。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

| | | | | | | | | |
|--------|----|-------|----------|----|--------|---------|----|-------|
| 函館市北星小 | 1年 | 細川 凧晴 | 札幌市上白石小 | 1年 | 佐藤根嘉音 | 函館市桔梗小 | 1年 | 東出 結愛 |
| 函館市北星小 | 1年 | 柳原 征太 | 札幌市上白石小 | 1年 | 稗田かな | 洞爺湖町虻田小 | 1年 | 花田 小春 |
| 函館市北星小 | 1年 | 熊谷 蒼空 | 札幌市上白石小 | 1年 | 山上 陽斗 | 浦臼町立浦臼小 | 3年 | 今村日向子 |
| 函館市北星小 | 1年 | 濱本 漣 | 札幌市上白石小 | 1年 | 森山 柚穂 | | | |
| 函館市北星小 | 1年 | 大橋 蓮武 | 札幌市上白石小 | 2年 | 大西 慧太 | | | |
| 函館市北星小 | 1年 | 柳原 貫太 | 札幌市上白石小 | 3年 | 後藤 美月 | | | |
| 函館市北星小 | 1年 | 小林 祐惺 | 札幌市上白石小 | 3年 | 檜山 祐巳 | | | |
| 函館市北星小 | 1年 | 岡本ゆりあ | 札幌市上白石小 | 3年 | 佐藤 紬 | | | |
| 函館市石崎小 | 2年 | 関 美空 | 札幌市上白石小 | 3年 | 中村 柊太 | | | |
| 函館市石崎小 | 3年 | 平山 伶奈 | 札幌市上白石小 | 3年 | 遊佐 聖人 | | | |
| 函館市本通小 | 1年 | 野呂 莉愛 | 札幌市上白石小 | 3年 | 畑中 結衣 | | | |
| 函館市本通小 | 1年 | 佐藤 良哉 | 札幌市本郷小 | 1年 | 保田 明希 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 瀧江 小町 | 札幌市本郷小 | 1年 | 神 ひなた | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 対馬 一花 | 札幌市本郷小 | 1年 | 平間 煌太 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 品澤 玖隠 | 札幌市本郷小 | 1年 | 林下 天琉 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 柳沢 華 | 札幌市本郷小 | 1年 | 久保田紗礼 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 藤元 星愛 | 札幌市本郷小 | 1年 | 森 要 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 関川 怜花 | 札幌市本郷小 | 1年 | 篠田凜々花 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 遠藤 七美 | 札幌市本郷小 | 1年 | 佐々木結芽 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 奥田 明花 | 札幌市本郷小 | 1年 | 齋藤 七美 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 進藤 優太 | 札幌市本郷小 | 1年 | 多田 一都 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 岸元 笑子 | 札幌市札幌小 | 3年 | 大瀬 結楓 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 池田 文菜 | 札幌市札幌小 | 3年 | 川崎 柚乃 | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 上出みな実 | 札幌市札幌小 | 3年 | 海老田ゆうか | | | |
| 函館市本通小 | 2年 | 木村 悠 | 札幌市札幌小 | 3年 | 牧野 彩央 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 工藤 爽叶 | 札幌市白楊小 | 1年 | 立花 陸玖 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 中谷 真彩 | 札幌市白楊小 | 2年 | 村尾 愛香 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 立見 起一 | 札幌市白楊小 | 3年 | 小山内敦之 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 遠藤 玲那 | 札幌市白楊小 | 3年 | 清水 大翔 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 小柏進次郎 | 栗山町立継立小 | 3年 | 菊田 小愛 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 鈴木 崇太 | 栗山町立継立小 | 3年 | 林 滢菜 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 葛西 宥汰 | 札幌市太平小 | 2年 | 穴吹 瑠 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 佐々木 心 | 旭川市愛宕東小 | 3年 | 在川 柚衣 | | | |
| 函館市本通小 | 3年 | 田中 晴貴 | 江別市野幌若葉小 | 3年 | 村山夕樹乃 | | | |
| | | | 帯広市柏小 | 1年 | 岩本 将吾 | | | |
| | | | 赤平市豊里小 | 1年 | | | | |

奨励賞(小高)

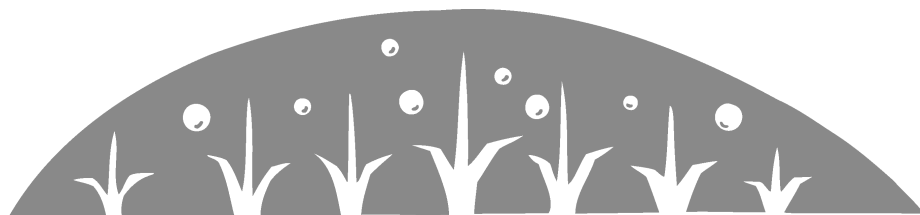
| | | |
|---------|----|-------|
| 函館市石崎小 | 4年 | 小石 月都 |
| 函館市石崎小 | 5年 | 濱 利光 |
| 札幌市上白石小 | 4年 | 後藤 杏奈 |
| 札幌市上白石小 | 4年 | 小野 佑馬 |
| 札幌市上白石小 | 4年 | 舟津 碧人 |
| 札幌市上白石小 | 5年 | 中村 結衣 |
| 札幌市上白石小 | 5年 | 水口 茉耶 |
| 札幌市上白石小 | 5年 | 安部未莉亜 |
| 札幌市上白石小 | 6年 | 菅野 心希 |
| 札幌市上白石小 | 6年 | 横山 咲香 |
| 札幌市上白石小 | 6年 | 笹 彪月 |
| 札幌市上白石小 | 6年 | 宮野 遼 |
| 札幌市上白石小 | 6年 | 大城 大空 |
| 札幌市屯田南小 | 5年 | 宮元 かな |
| 札幌市屯田南小 | 5年 | 熊谷 湊乙 |
| 札幌市屯田南小 | 5年 | 田口 桜子 |
| 札幌市屯田南小 | 5年 | 原田 七緒 |
| 札幌市屯田南小 | 5年 | 小峯 紘大 |

奨励賞(中学)

| | | |
|----------|----|-------|
| 札幌市陵北中 | 2年 | 野呂瀬美湖 |
| 釧路市青陵中 | 2年 | 佐藤 奏 |
| 釧路市青陵中 | 2年 | 渡邊 芽依 |
| 札幌開成中等教育 | 2年 | 河西 舞桜 |
| 東川町立東川中 | 1年 | 高橋 暖 |

奨励賞(高校)

| | | |
|-----------|----|-------|
| 札幌聖心女子学院高 | 2年 | 石田まなつ |
|-----------|----|-------|



第52回北海道学校図書館研修講座

日時：2020. 1. 7 会場：かでの2・7

『心弾む学校図書館のために ～学校図書館ガイドラインに込められた思い～』

講演：青山学院女子短期大学教授 堀川照代氏

講師紹介（北海道学校図書館協会 副会長 三分一 晶）

堀川照代氏は、東京大学大学院教育学研究科博士課程を満期退学し、島根県立女子短期大学に奉職、現在は青山学院女子短期大学教授としてご活躍されています。2015年6月、文部科学省が「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」を設置した際の座長も務められ、2016年10月までにまとめられた報告書を踏まえて「学校図書館ガイドライン」が策定されました。学校図書館ガイドラインに込められた思いや願いについて示唆に富むお話をお伺いできるものとご講演をお願いいたしました。

研修各講座に先立って行われた、青山学院女子短期大学教授堀川照代先生のご講演は、学校図書館がこれまでに少しずつ整備されてきた変遷をふりかえり、これからの時代の学校図書館に求められる姿や学校図書館の可能性をお話しいただいて、とても心が熱くなりました。

講演は、①国の学校図書館行政の動向 ②資質・能力育成の時代の学校図書館 ③「学校図書館は教育のインフラ」 ④「一人ひとりが心弾む学校図書館に」の4部で構成されていました。

第1部では、1992年の「学校図書館に関する悉皆調査」や1997年の12学級以上の学校に司書教諭必置など、国の学校図書館行政施策の足跡が紹介され、これからの学校図書館の整備充実が一層推進されるよう2016年に「学校図書館ガイドライン」が提唱された経緯を教えてくださいました。令和2年度には小学校で学習指導要領の全面改訂が実施される予定ですが、第2部ではこれからの時代を見据えて子どもたちに培われていかなければならない力として、プログラミング的思考や探究プロセスを繰り返せる力、情報を使う力（情報リテラシー）などを挙げ、学校図書館が学校における言語活動や探究活動の場となって、主体的・対話的で深い学びすなわちアクティブ・ラーニングを効果的に進めていく役割を担っていかなければならないことを話されました。

さらに第3部では、「本を読む」ということが人間性を涵養し、図書資料を活用することが何時でも学びを豊かにし、図書資料から得られる情報が一人一人の情報活用能力を高めていくという場としての学校図書館は、もはや教育のインフラ（安定した基盤）であらねばならず、学校図書館に関わる人が機能的に充実するよう運営していかなければならないことを力説されました。そして最後の第4部では、一人一人の利用者にとって学校図書館はそれぞれ別々の利活用する意義が存在してよいわけで、言い換えるならば学校図書館がもつ可能性は無限であり、すべて子どもたちの学ぶ喜び・生きる喜びに寄与していくものでなければならぬとまとめられました。

これからの学校教育活動の中で、「学校図書館は子どもたちの学びを支えていく根幹であらねばならない」という意識を再び強くもつことができました。堀川先生、本当にありがとうございました。

〔北海道学校図書館協会 事務局次長 村山知成（札幌市立札幌小学校 教諭）〕

第52回北海道学校図書館研修講座に参加して

滝上町立滝上小学校 教諭 磯野孝子

私はパンを焼くことが好きです。粉の質、水分量、全粒粉の配合具合、海水塩と岩塩で変わるまろやかさのちがいが、発酵時間、焼成温度と時間、イーストか酵母をおこすか、クープを入れるのか、自然に膨らむ裂け目を好むか…。いつか自分の納得する組み合わせにたどり着くのでしょうか。おいしい気がするけど納得いかない。でも、それが楽しくて、次はこうしてみようかなというアイデアが浮かびます。いつまでも飽きません。

例年、本校からは別の職員がSLAの講座に参加していました。私は学生時代に司書教諭の資格を取得したので、実際に働き、現状を知ってから学校図書館にかかわる方々と交流したのは今回が初めてでした。どの講座の先生方も、どの参加者も、私がパンに抱くような愛を、図書館や本に対して抱いていると感じました。そして、なんだか私も、本のこと、図書館のこと、実はずっと愛していたんじゃないか？という思いになりました。それと同時に、私は学校図書館についてまるっきり勉強不足だということも痛感しました。

自分の中学校の時の恩師が佐藤敬子先生です。敬子先生の図書館運営は楽しくて、図書館に行くたびに「次はこれを借りてみたらどうかしら。」とおすすめていただく本はやっぱり面白かったこと、敬子先生に気づかれないように、好きな人が借りていた本を借りてみることに謎のスリルを感じたこと、「この本好きです。」という「作者に会えるんだけど会ってみる？」なんてこともありました。図書委員は敬子先生の魔法にかかった熱心なリピーターがいるので、私はなれませんでした。たくさん思い出があります。自分の司書教諭としての強みの一つとして、敬子先生の図書館運営を身をもって体験してきたことが挙げられると思います。（浅村先生も恩師です。とても心強いです。）

今回『資料の更新』と『年間計画』を受講させていただきました。本校には除籍、配架基準もありません。学校図書館運営計画もありません。帰校し、職員に提案すると、理解を得られたので、作成し、来年度の経営要綱に載せられたらと考えています。

オホーツクの学校図書館チームの先生方ともお会いできて、熱心さに心惹かれました。

大変充実した時間を過ごさせていただきました。今回は、本当にありがとうございました。

■第52回 北海道学校図書館研修講座に参加して も 「知的刺激に触れないと精神が保たんですよ」

紋別高等養護学校 実習助手 中山 茂 樹

2日に亘り受講した講座は有益かつ大いに知的好奇心をくすぐるもので、遠路足を運んだ甲斐がありました。

第1講は佐藤広也師。当初は不審感満載（失敬）ながら最後には師の博覧強記に興奮したアニメーション。カチカチ山の火打石、ハエをのみこんだおばあさん、ワイエスの名画の読み解き、ヨシタケシンスケ、ザリガニ・・・そして、徒然の永享三年版複製本は圧巻でした。

第一ラウンドから強烈な一撃を受け、やや疲労した状態で臨んだナイターでしたが、北海道ブックシェアリングの荒井宏明代表の地道な活動に接し、一気に目が覚めました。縮小する地方の現実、若者をめぐる数々の憂慮すべき統計、読書の臨界期等は大いに参考となり、昨夏受講した社会教育主事講習の復習にもなりました。

2日目第1講はブックトークで、落語の三題噺や謎かけにも通ずる楽しさと知的拡張性を感じました。山本裕子選定部長の流麗で凛とした語り口は正しく名人藝で、稽古に十分時間をかけられているとの楽屋話は大いに首肯できるものでした。

そして、中央図書館での図書検索演習は、親身な司書の皆様の後見を得て、探偵さながらの楽しさがありました。あくまでも主体は利用者であり、彼等が求める解を即時提示するのではなく、解に辿り着くためのヒントや手助けに留まるのが司書の務めと認識いたしました。このことは昨今のアクティブラーニングの思想にも通ずると痛感した次第であります。余談ながら、館内のバックヤードツアーではダ・ビンチの高級画集、明治期の新聞、札幌教育会由来の古典和書をはじめとする稀覯本、果ては松浦武四郎の歌稿にまで接することができ、このまま宿泊すらしたくなりました。

懇親会では同管内で奮闘する諸氏、練達の士と誼を深めることができ、日頃孤立しがちな愚生は大いに奮励されました。酔眼朦朧ではないものの、つい美しき司書の方々に弛緩して表題の迷言、否、愚痴を吐露した次第。初参加にも拘らず、野卑蒙昧な愚生を温かく迎えてくださり、この場を借りて改めて御礼申し上げます。
恐惶謹言

教育の機会均等は学校図書館の整備・利活用推進で

紋別市立南丘小学校 学校図書館長（校長） 橋本 雄一郎

北海道は広い。そして地域格差が大きい。そのことを改めて認識した3日間だった。とりわけ「ナイター」で「一般社団法人 北海道ブックシェアリング」の活動を紹介された法人代表理事 荒井宏明氏の報告は衝撃的だった。道内179の市町村のうち122が人口1万人未満の小規模自治体。その半数には書店も公共図書館もない。そうした地域での子どもの読書環境は保護者の所得と意識に大きく依存している。私の勤務地の紋別市でも一昨年、唯一の有名チェーンの書店が撤退した。

北海道の子どもの学力の低さが問題になって久しいが、道内の学力分布を見ると北海道全体が低いわけではない。管内別に見ると石狩・上川・十勝など中央部は比較的高く、宗谷・オホーツク・根室・日高など縁辺部で低い傾向にある。報道によると、家庭学習時間の差が影響しているとされ、北海道教育委員会は、インターネットを活用した学習システムの利用校を増やし、自主的に学べる環境の整備を図るなどしているが、学力は多面的な要素で形成され、抜本的対策とは言い難い。

道内で学力が低いとされる地域は、JR北海道が単独維持困難とする路線の沿線とも一致する。私は、道内の学力分布の不均衡は、過疎化に加え、知へのアクセス権の地域的不平等の結果だと考える。基礎学力、とりわけ読解力は、これからの複雑で不透明な社会を読み解き、安全に、幸せに生きて行くために欠かせない。また、過疎化が進む中、将来の持続可能な地域社会の実現のためには、10年・20年というスパンで先を見て、困難を乗り越える知恵や思考力を持った人材を手間暇かけて育成することが必要である。では、どうすればよいのか。

その答えは、「共通講座」青山学院女子短期大学教授 堀川照代氏の講演「心弾む学校図書館のために～学校図書館ガイドラインに込められた思い～」にあった。思考は言語で編まれる。読書で語彙や表現力を身に付け、場面を想起し課題解決する力が育てば、テストだけでなく、いじめ、不登校、問題行動など、あらゆる教育課題を包括的に解決することが可能になる。子どもが最も容易にアクセスできる知のインフラが学校図書館である。そこに予算と人手をかけることが教育の機会均等を担保し、本質的な学力対策にもなる。学校図書館が変われば、子どもと地域の未来が変わる。そんなことを考えた第52回北海道学校図書館研修講座であった。

■第52回 北海道学校図書館研修講座に参加して

「有意義な学びの時間」

北海道石狩翔陽高校 実習助手 立石 明日香

この研修講座に初めて参加したのは十数年前の初任者の時でした。昨年4月に赴任した本校で久々の図書館業務担当者に任命されました。長いブランクからの業務だったため少しずつ思い出し不安を抱えながら何とか進めていました。すると、私の手元に案内が届き年始めの初仕事としてタイミングが良くあの時の初心に戻るチャンスをつかめると思いました。また業務へのモチベーションアップのきっかけになると思い心弾ませの参加でした。

一日目の講演の中では、「学校図書館ガイドラインと管理・運営」について学び、図書館の存在アピールの大切さ、学習の中での図書館の活用促進、目的に合った資料提供の大事さ、教科間の連携をとり学校全体として組織的に取り組む必要があること等を分かりやすく説明して頂きました。また、講義の中では実際に「ゲーミフィケーション」を活用した体験型の学びに参加できたことも良い経験になりました。

二日目は、「図書館資料の更新」についての講義と実践でした。本校も冊数が多いため新しい資料を提供するには日々書架の整理が大切でその作業には膨大な時間を消費していました。しかし、それも今回の実践のように数人で除籍作業をしそれぞれの視点や角度を変えての考えを話し合うことで新たな見方を発見でき苦痛な作業にはならない楽しい時間の共有が生まれることも実感できました。

午後からは「レファレンスの基本」の講義と実習を中央図書館で行いました。利用者に対しての丁寧で細かな心配りによって資料探しの道が開かれる鍵に繋がることが理解できました。館内の案内では書庫の膨大な資料の多さに驚き圧倒されましたがこのような情報の宝庫だからこそ解決の道が広がるのだと納得がいきしました。その後、実際にテーマを頂きレファレンスに挑戦しましたが、パソコンで短時間で検索する手軽さも便利ではありますが、じっくり多方面の資料の中から手がかりを探したあとの発見の喜びには何とも言いえない満足感がありました。時間がたつのも忘れ作業が楽しくなりどんどん自身がのめり混んでいくのがわかりました。

最終日は、「アナログ資料でこそ育つ力育てたい力」をテーマとしての討議になりました。講師の方や他の参加者からの意見紹介やアドバイス等が大変役立ち参考となりました。

私が今回得たことは、先生や生徒一人一人と向き合うことで、日常のコミュニケーションから信頼関係を築き周囲からの理解も増え学校図書館が機能するということです。

今後の活動の中で今回の経験を生かし、色々なことを工夫、挑戦して前向きに頑張っていこうと思います。

楽しい有意義な学びの時間をありがとうございました。講師の方々、北海道図書館協会の皆様に心から感謝いたします。

第52回北海道学校図書館研修講座に参加して

北見市立高栄中学校 主幹教諭 齊藤 靖恵

17年ぶりの講座参加のきっかけは、3日目に発表の機会をいただいたことでした。討議「図書館資料とその活用～中学・高等学校」において、北見市学校司書の大澤知世さんと共に国語の授業実践と本校学校図書館の歴史についてお話しさせていただきました。前回参加した時との最も大きな違いは、学校司書の方が大勢参加されていたことです。これは、まさに学校図書館教育に情熱を注ぎ、実践を積み重ね、行政など広く働きかけを行ってきた北海道学校図書館協会の皆様のご尽力の賜物であると感じました。

せっかくの機会なので、自分自身のスキルアップを目指し、数ある魅力的な講座の中から二つ受講しました。2日目の講義・実習「プロに学ぶ伝え方のコツ」では、フリーアナウンサーの五十嵐いおりさんが、美しい笑顔・姿勢・発声で、すぐに活用できる朗読の技術をわかりやすく教えてくださいました。また、ご自身の取材経験やニュース原稿作成の際のエピソードをもとにしながら、「重要なことから順に」「情報を精選しながら伝える」コツについて、演習を通して体験的に学ばせていただきました。

2日目の午後は講義・演習「年間計画を作ろう」に参加しました。2020年から小学校より実施予定の次期学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現するには、学校図書館の充実が不可欠です。今こそ、すべての学校において教育課程との関連を踏まえた学校図書館全体計画を作成し、学校教育の基盤としての価値を共有していくべき時であると考えています。講義の中では、実際に運用されている資料を基に校内での具体的な進め方を教えていただき、大変参考になりました。また、道内各地、様々な校種、立場の方々との実態交流は、大いに刺激になりました。

学校図書館法の精神を「画餅」にしないためには、今回の研修講座で学んだことを学校で即実践していかなければなりません。初めて参加した懇親会では全道各地の仲間とつながることができました。これからも、皆さんと共に、子どもたちの心豊かな成長と学ぶ力の向上を願い、学校図書館の充実を図るための活動に取り組んでいきたいと思えます。

2019年度
北海道の先生がおすすめる本

北海道 指定図書

小学校中学年の部



きくち駄菓子屋

かさい まり / 作 しの とうこ / 絵
アリス館 定価1,200円+税
引越してきて、僕の最初の友だちは、きくち駄菓子屋のじいちゃん。小学校4年生の浩介とじいちゃんの心温まる話。



みずとはなんじゃ?

かこ さとし / 作 鈴木 まもる / 絵
小峰書店 定価1,500円+税
あさおきて、かおをあらう水。うがいをしたり、のんだりする水。水とはどんなものなのでしょう? 科学する心を育む絵本。



ナージャの5つのがっこう

キリーロバナージャ / 文 市原 淳 / 絵
大日本図書 定価1,400円+税
ページをめくるたびに国々の様子にびびり幼い頃生活した国々の学校生活を筆者本人を主人公に楽しく描いた絵本。

中学校の部



泥

ルイス・サッカー / 作 千葉 茂樹 / 訳
小学館 定価1,400円+税
タマヤたちの学校は立ち入り禁止の森に囲まれていた。森でいったい何が起きているのか? これまでにない近未来パニック小説!



パパはわるものチャンピオン

ノベライズ
板橋 雅弘 / 著 藤村 享平 / 脚本
岩崎書店 定価1,300円+税
パパの仕事を知らないショータ。こっそりパパの仕事を探るべく、なんとわるものレスラー!? 映画化された感動物語。

小学校低学年の部



きのうをみつけない!

アリソン・ジェイ / 作・絵 蜂飼 耳 / 訳
徳間書店 定価1,800円+税
楽しかったきのうにもどりたいけど、どうやったらできるかな? おじいちゃんにきいてみたら...? 未来への希望を描く。



たったひとつのドングリが —すべてのいのちをつなぐ—

ローラ・M・シェーファーとアダム・シェーファー / 文
フラン・プレストン・ガノン / 絵 せな あいこ / 訳
評論社 定価1,400円+税
たったひとつのドングリが木に育ち、たくさんの動植物の命をささえていることを、シンプルな言葉と美しい絵で伝えます。



あめだま

ペク・ヒナ / 作 長谷川 義史 / 訳
プロンズ新社 定価1,500円+税
「リモコンがはさまって痛い」と椅子の音が。あめだまを食べると聞こえる心臓の音。人気作家が描く少年の成長物語。



バッタロボットのぼうけん

まつおか たつひで / 作
ポプラ社 定価1,500円+税
ふしぎなロボットによって、ジャングルや海などの大自然を冒険。世界中の生き物の知識と、好奇心がつまった絵本です。

小学校高学年の部



メロンに付いていた手紙

本田 有明 / 文 宮尾 和孝 / 絵
河出書房新社 定価1,300円+税
メロンに付いていた手紙から始まった2人の小学生の交流。東京と夕張、それぞれの素晴らしいさに出会うひと夏の物語。



赤はな先生に会いたい!

副島 賢和 / 著
金の星社 定価1,400円+税
入院中の子どもたちへのケアの大切さに気づき、院内学級の先生になった! 生きる勇気を与えてくれるノンフィクション。



みんながって、それでいい パラ陸上から私が教わったこと

宮崎 恵理 / 著 重本 沙絵 / 監修 ポプラ社 定価1,300円+税
パラリンピックメダリストが自身の障がいと向きあい、受け取った過程と、夢に向かって進む姿を描くノンフィクション。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

● ホームページ [北海道学校図書館協会](#) [検索](#)



北海道の本を読みましょう!

第65回 青少年読書感想文全道コンクール 第45回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
■後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

学校図書館情報

◆2020年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 2020年5月9日(土)
- ・場所 札幌グランドホテル
札幌市中央区北1条西4丁目

各支部の総会参加について、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆全国学校図書館協議会：各県SLA事務局長会議開催
2020年2月6日(木) 東京の学校図書館センター(公益社団法人全国学校図書館協議会事務局)にて開催され、北海道から会長以下3名が参加しました。

2020年度活動方針、事業計画、青少年読書感想文コンクール、読書感想画コンクール、各県SLAへの助成金等についての説明と報告がありました。また、機関誌『学校図書館』の発行部数が年々減っているようで、購読拡大が訴えられました。全国SLA事務局から直接購入した場合、購読数に応じて北海道SLAは研究助成金が受けられます。各校でぜひ検討をお願いします。午後からの協議では、北海道から道内の学校図書館の現状を報告し、他県と活動交流をして今後の課題の確認をしました。

翌7日(金) 午前の国会議員への要望訪問では、「第五次の『学校図書館図書整備等5か年計画』の予算化」「学校司書1校1名の配置促進、専任化の実現」「司書教諭の専任化・担当時間の確保、教育委員会による発令」を中心に衆参両議員会館へ足を運び、地元である北海道選出議員をお願いをしまりました。

◆第61回北海道図書館大会のお知らせ(予定)

- ・日時 2020年9月3日(木) 4日(金)
- ・会場 札幌市教育文化会館
- ・参加者 公共図書館・公民館・大学図書館・学校図書館・専門図書館・市町村教育委員会等関係機関の職員・図書館協議会委員・図書館に興味のある方等

北海道学校図書館協会も構成団体の一つである、北海道図書館連絡会議が主催の大会です。北海道の図書館人が一堂に会する、年に一度の大会です。学校図書館関係者の多くのご参加を期待しております。

事務局

事務局長 渡部 浩士(札幌市立稲積中学校)
事務局校 札幌市立稲積中学校
〒006-0814 札幌市手稲区前田4条5丁目2-1
TEL 011-684-1430 FAX 011-684-5738

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介
『虹いろ図書館のへびおとこ』
櫻井 とりお 著
河出書房新社 1,200円+税
ISBN 978-4-309-02838-5 2019/11/20刊
全国学校図書館協議会選定図書

この本は、第1回氷室冨子青春文学賞・大賞に輝いた傑作です。
いじめがきっかけで学校に行けなくなった、小学6年生の火村ほのか。
たどり着いたおんぼろ図書館でみどり色の司書、謎の少年、そしてたくさんの本に会い、ほのかの世界は少しずつ動き出します。図書館が読者のところを彩る感動の物語です。
(小学上級・中学から)



◆第42回全国学校図書館研究大会(高松大会)のお知らせ
「豊かな心と自ら学ぶ力を育む学校図書館」
・日時 2020年8月5日(水)～7日(金)
・会場 香川県高松市

今年は、全国大会が香川県の高松市で開催されます。詳細の案内については、全国学校図書館協議会のHPでご覧ください。

編集後記

日脚が伸びて、少しずつ春は近づいておりますが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。読書感想画全道コンクールも第7回を迎え、多くの応募をいただきました。参加校数も伸びております。来年度もさらに充実したものとなりますよう、関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集：村山 知成 杉本 操 野村 邦重)
大久保雅人 渡部 浩士

ホームページアドレス
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>